

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

北鶴橋小	学校
------	----

児童数	19
-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	17.31	16.85	37.31	33.15	44.54	9.23	144.38	18.77	50.23
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	16.33	21.33	42.17	37.33	44.33	9.23	141.67	13.67	58.00
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

今回の調査の結果では、大阪市の平均を男子が3種目、女子はすべての種目で上回った。特に握力、長座体前屈は男女ともに大阪市平均を大きく上回る結果となっている。男子では、上体起こし、反復横とびは大阪市平均との差が大きく、体力合計点では大阪市平均を上回ることができなかった。しかし、女子はすべての種目において大阪市平均を上回り、特に20mシャトルランでは大きく上回った。体力合計点でも、大阪市の平均を大きく上回った。また、「運動やスポーツをすることは好きですか」の質問では、男女とも肯定的な回答をする児童が90%を超えており、「体育の授業は楽しい」の質問では、肯定的に回答する児童も男女ともに90%を超え、大阪市平均を上回っている。1週間の総運動時間については、男子は大阪市の平均よりも下回っているが、女子は運動時間が0～59分の児童がなく、60～419分の児童が大阪市平均を上回っていることから、今回の体力合計点のポイントの大幅な増加につながったと考えられる。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

- ・20分休憩の最後の5分間で、1年を通して「なわとびタイム」を実施した。とべた回数や種目が増えていくことで、子どもたちの意欲が高まっていくとともに、20分休憩の開始時から運動場に出て、遊ぶ児童が増えてきた。
- ・3学期には「かけあしタイム」を実施し、寒い日でも1日に1度は外に出て、体を動かす習慣をつけるようにした。がんばりカードに走った距離を記録していくとともに、全校児童を2つのグループに分けて、グループの走った距離の合計を競い合うような取り組みを行ったので、意欲的に走ることができた。
- ・どの学年の児童も概ね運動をすることが楽しいと感じているが、遊ぶ時間や場所の制約もあり、十分に運動ができていない。しかし、体育でゲストティーチャーを招聘して、様々な運動を体験する機会を設けることにより、これまで経験したことのない運動にチャレンジしたり、効果的な運動の方法やコツを学んだりする機会を多く設けることができた。今後は、地域や保護者と連携し、放課後や休日に運動に取り組むことができるようにしていく必要がある。